

ハローキャリアワーク通信

12月23日（土曜日）に、KIS（キティインターナショナルスクール）から依頼が来た「英語での保育のお手伝い」また、キティインターナショナルスクールの一員として「キティインターナショナルスクールのPR動画の作成」の第1回目が行われました。今回は、応募者が多数のため抽選で選ばれた小学校5年生から中学校2年生の10名の子どもたちが活動しました。



第1回目は、キティインターナショナルスクールの子どもたちの活動が行われない日なので、株式会社キティクラブ代表取締役社長長の斉藤和樹、Adrian先生の自己紹介そして、参加した子どもたち一人一人の自己紹介を英語で行いました。次に、キティインターナショナルスクールの活動方針や現状、施設内見学を行いました。その中で、KISが目指す生徒像として、「健康・活発・好奇心旺盛・和して同ぜず」ことなどを斉藤社長が話し、施設の様子については、Adrian先生が英語で質問やユーモア溢れる話し方で説明



を行いました。参加した子どもたちの中には、アメリカでの生活経験もある子もいて、受け答えを英語で話し、「VERY GOOD」と何度も言われていました。



その後、少し離れたもう一つ教室に迎え、さらにキティインターナショナルスクール活動の様子を映像を交えて説明を受けました。そして、キティインターナショナルスクールは、NTT東日本との協力関係を得て、ICT環境などの充実を図り、e-sportsなども行うとのことでした。映像を見た後は、Adrian先生がワークシートを用意され、シートを使って簡単な英語の学習が行われました。Adrian先生の英語の質問に、英語で答えることを参加した子どもたち全員に行い、Adrian先生は、逆に子どもたちの名前を覚えAdrian先生も、質問の際に子どもの名前を呼びながら進めていました。（先生として素晴らしい姿勢だと思いました。）

その後、少し離れたもう一つ教室に迎え、さらにキティインターナショナルスクール活動の様子を映像を交えて説明を受けました。そして、キティインターナショナルスクールは、NTT東日本との協力関係を得て、ICT環境などの充実を図り、e-sportsなども行うとのことでした。映像を見た後は、Adrian先生がワークシートを用意され、シートを使って簡単な英語の学習が行われました。Adrian先生の英語の質問に、英語で答えることを参加した子どもたち全員に行い、Adrian先生は、逆に子どもたちの名前を覚えAdrian先生も、質問の際に子どもの名前を呼びながら進めていました。（先生として素晴らしい姿勢だと思いました。）



その後、少し離れたもう一つ教室に迎え、さらにキティインターナショナルスクール活動の様子を映像を交えて説明を受けました。そして、キティインターナショナルスクールは、NTT東日本との協力関係を得て、ICT環境などの充実を図り、e-sportsなども行うとのことでした。映像を見た後は、Adrian先生がワークシートを用意され、シートを使って簡単な英語の学習が行われました。Adrian先生の英語の質問に、英語で答えることを参加した子どもたち全員に行い、Adrian先生は、逆に子どもたちの名前を覚えAdrian先生も、質問の際に子どもの名前を呼びながら進めていました。（先生として素晴らしい姿勢だと思いました。）



いよいよ、今日の活動の重点である「キティインターナショナルスクールPR動画」の作成になりました。始めに斉藤社長が「みなさんを、キティインターナショナルスクールの一員として認めます」と一人一人にご自身の名刺を渡されました。入社式のような感じでした。



動画作成に当たり4コマ漫画の要領で作成することやその材料などが渡され、Adrian 先生が例示としてホワイトボードに似顔絵交じりのイラストで説明しながら書き始めました。斉藤社長曰く「Adrian 先生は



イラストレーターとしてアメリカでは有名な方」とのことで、1コマ1コマを自分や参加した子どもの似顔絵を交えて描き進めていきました。それを見ていた子どもたちも考えを巡らせ、徐々に鉛筆が進み始めました。一人一人が、今日これまでにキティイ



ンターナショナルスクールで見聞きしたことから一番印象に残ったこと、一番いいと感じたことを思い浮かべながら、それぞれが Story Comic としてまとめ上げていきました。



時間の関係もあり、途中の子どももいましたがそれぞれの作品を一人一人発表しました。一人一人の思いが詰まった素晴らしい内容の作品になっていました。また、子どもたちが作品を作っている間に、Adrian 先生は、一人一人の今日の活動の様子を描き上げて、見せてくださいました。子どもたちから「ください」との声に、斉藤社長から、次回までにコピーを取ってくださるとお話しくださいました。次回は、今回の一人一人の Story Comic を動画に仕上げ、キティインターナショナルスクールの子どもたちに、披露する活動も計画されまし

時間関係もあり、途中の子どももいましたがそれぞれの作品を一人一人発表しました。一人一人の思いが詰まった素晴らしい内容の作品になっていました。また、子どもたちが作品を作っている間に、Adrian 先生は、一人一人の今日の活動の様子を描き上げて、見せてくださいました。子どもたちから「ください」との声に、斉藤社長から、次回までにコピーを取ってくださるとお話しくださいました。次回は、今回の一人一人の Story Comic を動画に仕上げ、キティインターナショナルスクールの子どもたちに、披露する活動も計画されまし

た。以下は、一人一人の発表です。



上の絵は、Adrian 先生の商品